

NO	資料	頁	質問	回答	質問者
1	資料1	5	<p>報告書は大変わかりやすくまとまっており、3つの項目の問題点がそれぞれ大変わかりやすく反映されていると思う。読ませていただいて強く思うのは、こども部会にはもっと当事者の方に加わっていただけたほうが良いのではないかと。という点だ。なぜライフサポートファイルが普及しないのか・切れ目のない支援を目指している中で当事者は今何を思うのか・医療的ケア児者の日常生活での困りごとは具体的に何なのかを、もっと当事者の近くで情報収集する必要があるように思う。</p>	<p>現在、こども部会には松戸市障害者団体連絡協議会の方にもご参加いただき、当事者側の視点から積極的にご意見をいただいているところではあります。今後とも個別のテーマに即し、必要に応じてアンケートを実施する等、当事者の方のご意見が議論に反映されるよう取り組んでまいります。</p>	菊田委員
2	資料1	6	<p>「個人情報を超えて共有ができないというハードル」があるとのことですが、どのようにすれば、個人情報を共有した上で、対象者に適した支援が継続されるように関係者が議論できるのでしょうか。「ハイリスク者を把握しスクール・ソーシャルワーカーをつける」など適切な手順を踏むことや、(重層的)支援会議の枠組みを検討することで可能になるのでしょうか。</p>	<p>今年度の活動においては、こういったところに支援の切れ目があり、各担当業務の範囲内でどのように課題解決に取り組んでいるかの整理を行ってまいりました。来年度の活動においてさらに議論を深め、星野委員からのご意見も踏まえつつ、浮き彫りとなった課題の解決策等について具体的に検討していきたいと考えております。</p>	星野委員
3	資料2	1	<p>地域生活支援拠点における拠点コーディネーターの市内におけるこれまでの配置状況や経緯について教えてください。また今回、単独事業所に限定した理由について教えてください。単独で機能を担うことのできるポテンシャルのある事業所が少なかったり、3障害のバランスを考慮したりした時、共同で機能を担うとした方が適切かもしれません。</p>	<p>松戸市ではこれまで拠点コーディネーターを配置していませんでした。令和6年度報酬改定により、地域生活支援拠点等機能強化加算(拠点コーディネーター配置による加算)が追加されたことにより、配置の検討を開始しました。</p> <p>単独事業所に限定した理由は試験的な導入のため、業務開始後も様々な調整が発生すると想定され、調整先を減らすことで業務負担を軽減させることや、共同運営の事業所の1つが撤退することで拠点コーディネーターとしての資格要件を満たさなくなる事態を避けるためです。</p>	星野委員

NO	資料	頁	質問	回答	質問者
4	資料3-1	-	<p>ビオネストへの一括譲渡が決まったとのことだが、今も利用者さんたちは日々暮らしており、職員さんたちも不安を抱えつつ働いておられると思う。当然職員さんたちの士気の低下・多くの離職者発生は避けられず、人手不足は深刻なのではないか？ふわふわ松戸の現状の職員状況と労働力確保のための行政としてのサポート状況を知りたい。</p> <p>また、知的・精神・身体どの障害種でも、重度の方を受け入れられるグループホームは圧倒的に不足していることが、今回の恵のような施設に需要が集中せざるを得ない状況を生み出してしまっていることを重く受け止めなければならず、自立支援協議会としても、何かしらの対応を協議すべきではないかと考える。</p>	<p>定期的に施設を訪問し利用者の生活状況の把握及び職員の勤務状況、メンタル状況、本社からの情報共有の内容等を確認しております。必要に応じて千葉県への情報提供や、入居者の計画相談員へ情報共有を行い、移動に伴う準備を行っていただけるよう情報発信を行っております。</p> <p>また、松戸市障害福祉計画において、日中サービス支援型グループホームと利用希望者の見込量を比較し、現在の整備見込量において新たな利用希望者への対応はできるものと考えています。</p> <p>いずれに致しましても同計画は令和8年度までの計画となることから、次年度以降も引き続き見込量については精査を図ってまいります。</p>	菊田委員